



FLAMINGO

令和5年10月31日発行
横浜市立荏田南小学校
学校だより 11月号



ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/edaminami/>



運動会で培った力と自信



校長 阿部 千鶴

木々の葉が赤や黄色に色づき始めました。1年生、2年生はドングリや松ぼっくりをひろい、宝物のようにしています。生活科の学習で使うのだそうです。

10月21日(土)、「40周年記念運動会」を行いました。今年は、特別種目として、全校競技「未来へつなごう!40周年記念大玉ころがし」と、全校児童による「祝40周年!荏田南小音頭」を追加しました。

各学年の演技は、練習のはじめから見ているので、子どもたちがどれほどがんばってきたのかがよく分かります。はじめはできなかった動きや技が、練習を重ねるごとにできるようになっていきました。子どもたちも手ごたえを感じているのか、演技をする表情が日に日に自信を帯びていきました。

ちょっと手を伸ばせばできる目標を掲げ、できるようになるまでがんばり、できるようになる。この、「がんばればできるようになる」「がんばれば願いが叶う」経験は、子どもたちを大きく成長させます。また、その経験は自信につながります。

その経験があるから、「次もがんばろう」と思えたり、「自分はやればできる」「自分は大切な存在だ」と思えたりするのです。

演技をしている子どもたちの顔は、真剣でした。そして技ができたときには誇らしげでした。運動会によって、成長する姿を改めて感じさせてもらった運動会でした。

本校の子どもたちに、アンケートを取ると、「わたしは、自分のことを大切な人だと思います」「わたしは、自分のことが好きです」「わたしは、友だちやクラスの人役に立っています」などの、自尊感情、自己肯定感、自己有用感を問う質問に対してマイナスの答えをする子どもたちが一定数います。

育成が難しいと言われている、「自尊感情」「自己肯定感」「自己有用感」を、運動会などの行事を通して育てることにつながればうれしいと思っています。

また、運動会のアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。自由記述にもたくさんの書き込みをしていただきましてありがとうございました。運動会を、保護者の皆さんも楽しみにしてくださっていたことがよく分かりました。

皆さんの思いをすべて叶えることはできませんが、よりよい運動会にするべく、参考にさせていただきます。

このあとは、まだまだ行事が続きます。1年のズーラシア遠足、2年・3年は町たんけんや公園たんけん、4年の区の音楽会、5年の区の球技大会、6年の国会見学、40周年記念集会・・・。

子どもたちが少しずつ自信をつけながら、健やかに成長してくれることを願っています。